



AIでバリアフリー情報を整備

国交省実証事業に採択

豊中市では、バリアフリーマスタープランを策定し、“だれもが気軽に出かけられるまちづくり”を進めています。

この度、本市は、国土交通省が「AIを活用した効率的な施設データ整備」を検証するために公募した「歩行空間の移動支援サービス現地事業」に採択されました。これは、市のバリアフリー施策における、デジタル活用と当事者参画の取り組みが評価されたものです。

今後、AIを活用したバリアフリー施設の情報収集とデータ整備の実証を行います。本事業で蓄積するデータは、国土交通省が進めている「ほこナビDP」（データの整備・管理・更新・オープンデータ化を支援するデータプラットフォーム）に反映され、本市において先行利用を開始する予定です。

実証事業の概要

■実施期間：令和7年9月～12月

■現地実証：令和7年11月26日（水）13：00～16：00

※当日、取材にお越しいただく場合は、11月25日（火）15時までに下記問い合わせ先にご連絡ください。

■既存施設情報を用いたデータ整備

- 既存の施設情報等を用いてデータ整備を実施
- システムの機能性・操作性、日常業務において効率よくデータ整備するための工夫点等を確認



■写真からのバリアフリー情報抽出によるデータ整備

- 撮影した写真から整備情報を抽出するAI機能を用いて、データ整備を実施
- システムの機能性・操作性、バリアフリー情報を適切に抽出するための写真撮影における工夫点等を確認



車椅子使用者用トイレ
オストメイト

乳幼児用椅子
大型ベッド

国土交通省のHPはこちら

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html

【報道機関からの問い合わせ先】

都市基盤部 基盤整備課 担当：吉村・宮島・天満

TEL：06-6858-2657

E-mail：douro_keikaku@city.toyonaka.osaka.jp